

# 適切な機器の更新と BEMS の活用による 環境に配慮したホテル経営の推進

## きっかけ

浅利観光株式会社（以下、浅利観光とする。）は、創業以来ガソリンスタンド運営などエネルギー事業を行っており、後発のホテル業においてもエネルギー効率を考えた運営を行いたいとの思いがあった。一方、各ホテルにおいて、エネルギーの細かな見える化や使い方ができていなかったため、2011年に省エネ診断を受けた。省エネ診断では、具体的な数値による提案があったことから、運営する松江ニューアーバンホテルや松江アーバンホテルにおいて、環境に配慮した経営を推進するため、社長が主体となって、国の補助金を活用しながら省エネに取り組むことにした。

## 取組の概要

2013年に松江ニューアーバンホテル別館と松江アーバンホテル1号館にBEMS（ビルエネルギー管理システム）を導入し、1分単位でエネルギーの「見える化」を実施、高効率空調への更新やガラスフィルムの装着、LED照明への更新などにより、継続した使用電力量の削減を達成した。また、2016年に松江ニューアーバンホテル本館と松江アーバンホテル2号館でマルチエアコンやLED照明への更新のほか、新たなBEMSを導入するなど積極的に省エネに取り組んでいる。

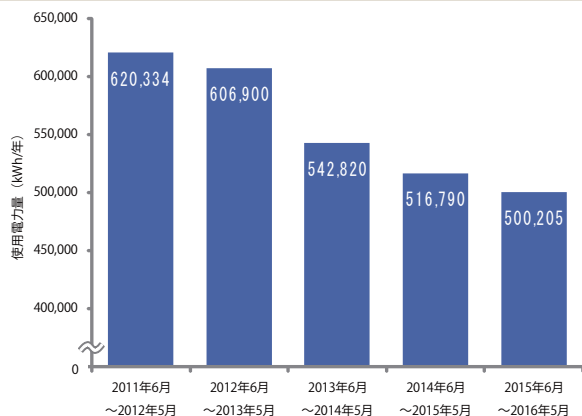
## BEMSの活用

BEMSにより用途別に電気、ガス、灯油の使用量を分析し、細かなエネルギー使用傾向を把握、更に機器故障の早期発見や新たな課題の発見にも活用した。例えば、お客様のいない時間帯においても常時使用している電力があることを発見、何に使用しているのか調べた結果、温泉の循環ポンプなどであることを明らかにした。そこで、お客様が利用しない時間帯の機器の停止を検討、熱効率を計算した上で試行錯誤した結果、約5時間/日の停止を行うことができた。

また、BEMSによって得られた具体的な数値を従業員に伝えることで、従業員の意識向上にもつながった。空調の設定温度の適正化はもちろん、日中の気温から設定温度ほど必要ないと考えたときは、適正に温度を変更している。取組当初は、マニュアルを使用し周知していたが、現在は従業員の意識が向上したため、マニュアルがなくても取り組める体制ができたほか、各部門長が自部門を管理するだけでなく、他部門の取組もチェックするなど、会社全体で省エネに対する意識を保つよう工夫している。

## 【主な取組の内容】

- ・高効率空調への更新
- ・ガラスフィルムの装着
- ・LED照明への更新
- ・灯油ボイラをLPG給湯器に変更
- ・BEMSの導入



▲近年の省エネの成果（松江ニューアーバンホテル別館）



▲導入したBEMS(左)及び一定時間の停止を行っている循環ポンプ(右)

名称：浅利観光株式会社  
 所在地：0852-24-6078（松江支店）  
 連絡先：島根県江津市浅利町72番地  
 事業内容：ホテル業、貸しビル業、ガソリンスタンド運営、飲食店運営  
 従業員数：約170名（浅利観光(株)全体）

## これからの取組

高効率な機器への更新による省エネ活動は、一通り全て終わったところである。引き続き、従業員の省エネに対する意識を保ち、人の意識による省エネに取り組んでいきたい。

鳥取県

島根県

岡山県

広島県

山口県